広島大学中央図書館のルーツ

丹下健三と広島

広島大学中央図書館（1995）は、広島平和記念資料館・平和記念公園を手掛けた世界的な建築家丹下健三（旧制広島高校出身　1913-2005）の設計によるものです。丹下健三生誕 100 周年を記念して広島関連の資料を一堂に展示します。

とりわけ、丹下健三が建築家を志したのは旧制廣島高等学校理科甲類に在学の時（1930〜1933）、世界的建築家ル・コルビュジエのソヴィエト・パレス（1931）の計画案を見たときでした。その後、丹下健三は、広島平和記念公園（1949〜1955）を手がけることになり、他にも広島市児童図書館（1953）、さらに国立広島原爆死没者追悼平和祈念館（2002）を建設し、その生涯にわたって広島という場所に深く関わってきました。

本展では、旧制廣島高等学校に見たソヴィエト・パレスから平和記念公園構想、広島大学中央図書館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館を中心に模型、写真、書簡など広島の地に大切に保存されてきた資料を通して、広島大学中央図書館のルーツを辿り、丹下健三と広島との関わりについて紹介します。

SECTION 1：プロローグ - 旧制廣島高等学校時代
SECTION 2：広島平和記念公園設計競技
SECTION 3：広島平和公園構想
SECTION 4：広島子供の家
SECTION 5：広島大学中央図書館
SECTION 6：エピローグ - 広島原爆死没者追悼祈念館をめぐって

期間：10月23日〜11月25日
時間：10:00〜16:30（祝休）
場所：広島大学中央図書館「地域・国際交流プラザ」

JR 山陽本線をご利用の方
JR 西条駅 ⇄［広島大学行きバス（約 20 分）］→ バス停 広大中央口

山陽新幹線をご利用の方
JR 東広島駅 ⇄［広島大学行きバス（約 15 分）］→ バス停 広大中央口

高速バスをご利用の方
JR 広島駅 / 広島バスセンター →［高速バス グリーンフェニックス（約 75 分）］→ バス停 広大中央口

主催：広島大学大学院工学研究科建築学専攻
協賛：広島大学中央図書館、広島大学文書館、広島市公文書館、広島市市民局国際平和推進部平和推進課、広島平和記念資料館、広島市こども図書館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、（株）丹下建築都市設計、Fondation Le Corbusier、（株）echelle-1

＊展示室内での写真・ビデオ撮影はご遠慮下さい。